

詫間港^地

香川県土木部港湾課

〒760-8570 高松市番町4-1-10

☎087-832-3551

URL : <https://www.pref.kagawa.lg.jp/kowan/index.html>



1. 概況

詫間港は、香川県西部の美しい自然と「浦島太郎」の伝説で知られる旧詫間町（現在の三豊市）に位置し、荘内半島、粟島等によって囲まれた詫間湾、三野津湾にまたがる天然の良港である。

本港の整備は、寛文10年（1670年）に、丸亀藩主が藩直轄の塩田を干拓したのが始まりで、以後、次第に塩田の開発が進み、明治、大正にかけては、一挙に塩田黄金時代への基礎が築かれ、明治末期には約140haの塩田が開発され、本県塩田の約10%を占めるに至り、港はその塩の積出しに重要な役割を果たしてきた。

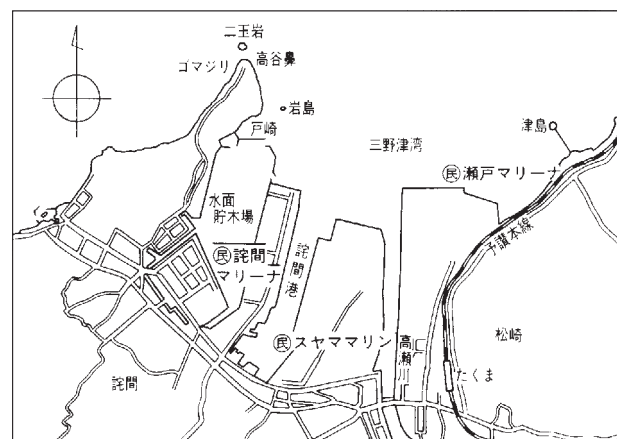
戦後、昭和28年には、塩業の衰退から、本県でもいち早く町発展の基本方針を港湾開発へと転換し、以後、港の改革に本格的に着手し、現在までに約110haの工業用地を造成したほか、-7.5m岸壁等の港湾施設を整備してきた。

さらに、昭和45年5月には本県の地方港湾としては初めての関税法による開港指定を受け、平成10年7月には本県2港目のコンテナターミナルが開設されるなど目ざましい発展を遂げてきた。

現在、港湾周辺の広大な塩田跡地と埋立地には鉄鋼、化学、

石油等をはじめとする各種企業が進出し、工業港として、県下でも有数の港湾となっている。

このように、塩田、港湾の開発を通じて海と深い関わりを持って発展を続けてきた詫間港は平成18年度に宮の下地区において、ボートパークや緑地などの整備を完了したところであり、今後とも海と調和した発展が期待されている。



5. マリーナ

区 分 名称など	施 設 規 模			収 容 能 力					上下 架施設 (能力、 基数)	泊地 水深 (m)	開設 年度	関連施設
	陸域 (㎡)	水域 (㎡)	防波堤 延長 (m)	合計 (隻分)	陸上保管		水面保管					
					ボート ヤード (隻分)	艇庫 (隻分)	浮桟橋 (隻分)	固定 桟橋 (隻分)				
瀬戸マリーナ 〒769-1102 三豊市 詫間町松崎字水出2825 ☎0875-83-6123	12,000	400	-	200	150	50	-	-	2.1t 4基 1t 2基	5.5	昭和60 年度	シャワー室 修理工場 クラブハウス 駐車場 ログハウス
スヤママリン 〒769-1101 三豊市 詫間町詫間1338-162 ☎0875-83-5440	7,000	363	-	140	100	30	10	-	2t 2基 1t 1基	3.5	昭和63 年度	クラブハウス シャワー室 修理工場
詫間マリーナ 〒769-1101 三豊市 詫間町詫間2112-35 ☎0875-83-2434	4,800	187	-	150	60	90	-	-	2.8t 1基		昭和60 年度	シャワー室